

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース											
アドバンスレッスン2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	西川進			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>編曲やトラック制作をする際の「フレーズの作り方」に関して学びます。発声法をマスターし、さまざまなジャンル、スタイルをこなせるヴォーカリストとしての幅をアップさせていきます。四部企業と提携し、楽曲制作に必要なジャンルや楽器の和声や旋律、音作りを生徒が主体的に考え、不明点を生徒自身で模索し、完成できるように学習していきます。また、ミックスの知識を得ることでより本格的な音源に仕上げる方法を学習します。書籍「決定版 音楽理論ワークブック ポピュラー音楽を完全理解」を使用しながら、より高度な音楽理論を学び理解を</p>											
到達目標											
<p>いかなるコード進行やリズムパターンにおいても、的確かつオリジナリティーのあるフレーズを構築出来ること。STEAM学習方針を取り入れ、創造の基盤となる総合的な知識や経験力を身につける。サウンドロゴやBGM、効果音を制作し、映像作品やゲーム等にも有効な作品制作技術を習得する。Rock、Pops、R&B、EDM、民族音楽、Jazz等様々な音楽ジャンル、国内外の名アレンジャーのサウンドスタイルについての知識を習得する。オーケストレーションに必要な基礎的な読譜力、記譜力、各使用楽器の音域や使用方法について学び、習</p>											
授業方法											
<p>毎週違った「推薦曲」のフレージング分析。多種多様なコード進行、スケール、リズムパターンにおけるフレーズ作りを、教室のDAWにて実際に体験してもらう。西川進オリジナル作品のシステムを使い、各楽器のフレージングのこつを学び、作品を完成させる。講師指定の楽曲を参考音源と楽譜をもとに様々なジャンルやアレンジャーのサウンドスタイルを分析する。同時に、ゲーム音楽、J-POP双方のオリジナル作品を作曲し、オーケストレーションの手法を用い仕上げていく。各種弦楽器、管楽器、打楽器以外にも、現代におけるシンセサイザーなどの</p>											
成績評価方法											
<p>試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)</p>											
履修上の注意											
<p>専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>西川進オリジナル教材を使う。適時、講師より教材を配布する。ヘッドホン、6.3mmステレオ標準変換アダプター、SSDやUSBメモリ等の記録媒体を持参すること。また自身のPCを持ち込むことも可。書籍「決定版 音楽理論ワークブック ポピュラー音楽を完全理解」を使用する。各自、筆記用具やノートと共に持参すること。</p>											
回数	授業計画										
第1回	<p>エレビの音色とエフェクト。課題曲「フラクタル熱愛」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[ガイドンス]作曲家・クリエイターに求められるアレンジスキルについて / アンビエント系サウンドを使用したサウンドロゴ制作*テーマに沿った楽曲イメージを調査しまとめる。□一タの管理方法の再確認。"前期の復習" ワークブック前期使用のページ</p>										
第2回	<p>ループの音色や種類 徹底研究。課題曲「フラクタル熱愛」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[弦楽四重奏]の楽器編成やスケール、コードの研究 / アンビエント系サウンドを使用したサウンドロゴ制作*楽曲制作01:必要な楽器の選別やジャンル、リズムやテンポといった楽曲の大まかな雰囲気やイメージする。因まかな楽曲の全体像の把握、セクションをイメージする。楽曲の骨組みを考える。"前期の復習" ワークブック前期使用のページ</p>										
第3回	<p>シンセサイザーの音色とフレーズ徹底研究。課題曲「フラクタル熱愛」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[弦楽四重奏]のアレンジの実践 / バンドサウンドのサウンドロゴ制作楽曲制作02:リズムパート(ドラムやベース)パターンをリファレンスし、再現したりアレンジして各自の楽曲に反映させる。短音階上の和音 ワークブック 103~121p</p>										

アドバンスレッスン2

第4回	パッドについて考える。課題曲「フラクタル熱愛」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[木管四重奏]の楽器編成やスケール、コードの研究 / バンドサウンドのサウンドロゴ制作楽曲制作03: 曲の基本となるモチーフを考え、シンプルでわかりやすいフレーズを考える。音色も考慮する。" " 主要和音 ワークブック 103~121p
第5回	リズムの捉え方(早い印象、遅い印象)。課題曲「フラクタル熱愛」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[木管四重奏]のアレンジの実践 / バンドサウンドのサウンドロゴ制作楽曲制作04: ウワモノの入力。楽曲のキーやコード進行を考え入力する。囃お、各々の作曲方法により02~03は順不同となる。" " 終止形 ワークブック 103~121p
第6回	アウフタクトとは。課題曲「イジワル」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[金管五重奏]の楽器編成やスケール、コードの研究 / デジタルサウンドのサウンドロゴ制作楽曲制作05: 制作を継続。全体のバランスを考えながら楽器の配置や演出を考える。短調でのセカンダリードミナントコード ワークブック 133、152~164p
第7回	イントロのイントロ。課題曲「イジワル」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[金管五重奏]のアレンジの実践 / デジタルサウンドのサウンドロゴ制作楽曲制作06: 制作を継続。全体のバランスを考えながら楽器の配置や演出を考える。短調でのセカンダリードミナントコード ワークブック 133、152~164p
第8回	「ブレイク」や「キメ」をどう考えるか。課題曲「イジワル」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。まとめ3 / Webページ作成サービスを作品発表に活用中間確認。この段階でラフなデモ音源が完成できるように制作を進める。書き出し音量とファイル形式について。Google classroomでの提出方法。平行調、同主調 ワークブック 122~129p
第9回	音を重ねるかっこよさ 音数が少ないかっこよさ。課題曲「イジワル」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[打楽器全般]の楽器編成やクロマティックパーカッションのスケール、コードの研究 / Webページ作成サービスを作品発表に活用楽曲制作07: 各楽器パートのブラッシュアップを行う。楽曲イメージに合わせた楽器の演奏方法を模索する。平行調、同主調 ワークブック 122~129p
第10回	サウンドに引っぱりかきり。課題曲「イジワル」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[打楽器全般]のアレンジの実践 / Webページ作成サービスを作品発表に活用楽曲制作08: 制作を継続。各楽器のパンニングを再確認する。空間系エフェクトを使用し臨場感を表現する。/ 空間系FXの詳細、リバーブとディレイ。ドミナントコードの代理和音 ワークブック 176~189p
第11回	リバースフレーズ徹底研究。課題曲「paint it」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[オーケストラ]の楽器編成やスケール、コードの研究 / Webページ作成サービスを作品発表に活用楽曲制作09: ミキシング。リズム隊の音量バランスを考える。リファレンス検索。/ グループトラックとルーティングについて。" " 偽終止 ワークブック 90~194p
第12回	サンプリングフレーズを考える。課題曲「paint it」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[オーケストラ]のアレンジの実践 / オリジナルサウンドロゴ制作楽曲制作10: ミキシング。リズム隊に対するメインパートの音量バランス。またウワモノのバランスを考える。/ コンプレッサー、サイドチェーンについて。" " 経過和音 ワークブック 195~199p
第13回	フレーズの「オクターブ」を考える。課題曲「paint it」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[オーケストラが使われている歌謡曲、J-pop]の楽器編成やスケール、コードの研究 / オリジナルサウンドロゴ制作楽曲制作11: ミキシング。リファレンスと比較し全体調整を行う。/ VCAとは。スケールの種類 ワークブック 217~227p
第14回	全体の温度感を考える。課題曲「paint it」におけるフレージング。ミュージシャン基礎知識。[オーケストラが使われている歌謡曲、J-pop]のアレンジの実践 / オリジナルサウンドロゴ制作楽曲制作12: ミキシング。最終工程を行う。書き出し形式やファイル名について。/ リミッター、マスターエフェクトについて。リハーモナイズについて
第15回	後期課題発表会まとめ4楽曲提出。授業内発表とプレゼンテーション、後期のまとめ。後期のまとめ